

議会だより



No. 97

平成26年7月31日
発行 大分県日出町議会
電話 0977-73-3135

題字は大神中2年 さとう ちほ 佐藤 智穂 さんです



ソーメン冷たくておいしいよ！（さざんか保育園七夕祭り）

目次

6月定例会

- 予算常任委員会 補正総額2億8430万円 2
議会改革特別委員会
- 委員会報告 4
総務産業常任委員会
福祉文教常任委員会
- 8人が町政全般を質す 6
一般質問
- 町民の声 14



議員が編集した手づくり議会だよりです

議会などの審議の記録は町のホームページでもご覧いただけます。

平成26年

6月定例会

新体制で臨む6月定例会が、6月6日から20日までの会期で開催されました。

初日の本会議では、町長から行政報告のあと、議案に対する提案理由の説明が行われ、補正予算や条例改正など承認6件、議案6件、同意2件、報告4件など、15日間にわたり審議しました。

審議の結果、補正予算は賛成多数で可決、その他の議案は全会一致で可決となりました。その他、委員会委員の任期を2年に改正するため条例改正し、請願2件を採択、国に対して意見書を提出しました。また農業委員会委員を2名推薦しています。

一般質問は8名で、そのうち新人議員が4名登壇し、町政についてそれぞれ所信を質しました。

予算委員会

譲渡された日本テキサス・インスツルメンツの施設の維持管理費や27年4月開館予定の町立図書館の施設整備事業など既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ2億8430万円を追加し、補正後の予算の総額を98億8230万円とします。

【主な歳出】

「コミュニティバス2台購入

10月1日からバス運行が各路線週2日(1日2便)になることに伴い新たに2台購入します。購入費は全て「コミュニティ助成金(宝くじ)」。

787万円

「テキサス川崎工場の振興

進入道路を改良し公共下水道に接続します。その他、施設の維持管理費や事務所棟の土地借上料、企業誘致活動のための旅費など計上します。テキサスからの寄付金を財源とします。

5790万円

「地震対策

中央体育館と藤原地区公民館の耐震補強のため、実施設計を行います。

837万円

「プレミアム商品券

今年も年末商戦に向け商



寄贈していただいた深見邸

工会がプレミアム商品券を発行します。発行総額1億2100万円。プレミアム部分を県と町が2分の1ずつ補助します。

1100万円

「深見邸の有効活用

文化交流や地域活動のため

の活用を願い、深見雅也氏、眞理子氏から寄贈していただいた日出中央区の深見邸を修繕し、維持管理費を計上。

2008万円

「新規就労者の雇用支援

県の緊急雇用創出事業の補助金(全額補助)を活用し、新規就労者のスキルアップを図り、正規雇用につなげるため、給料を1年間に限り全額助成します。

3179万円

「新町立図書館

27年4月の開館に向け準備している新図書館。大和リースへ支払う20年間のリース料12億3729万円(消費税込み)、年間6200万円を債務負担とします。債務負担行為とは、将来に亘って事業が継続する場合、事業終了まで契約に従い、掛かる経費の支出を約束するものです。

【主な歳入】

県支出金や寄付金などを計上し、財政調整基金で財源調整します。基金調整で繰入れる金額は9691万円となっています。

議会活性化への取り組み

議会改革特別委員会

議会基本条例の制定と町民の皆さんとの意見交換会の開催に向け、今後、毎月第2・4水曜日に委員会を開催していきます。また、議員16人全員に改革についてアンケートを実施します。

議会基本条例

議会基本条例は、地方議会の最高規範ともいえる条例であり、議会と議員の活動原則や住民参加を推進することなど明文化します。

条例の制定は、本会議や委員会での議論をより活発にし、また住民の意見を集約できる体制を整えて、真に住民の負託にこたえ得る議会、政策提案できる議会を実現しようとするものです。今年度中の条例制定を目指します。

意見交換会

今年11月頃に町民の皆さんと意見交換会を実施しま



改革を進めていきます

す。第1回目は、総務産業委員会8名が南端・豊岡地区、日出地区を担当、福祉文教委員会の7名が川崎、藤原、大神地区を担当し、次回は担当地区が入れ代わります。日時や場所、周知方法などの詳細を今後、協議していきます。

議員アンケート調査

4年前にアンケートを実施しましたが、6名の新人議員の意見を議会改革に反映させたいということで、再度実施します。

2件の請願を採択

国に意見書提出

義務教育費国庫負担および教育予算拡充

県教職員組合別府支部 酒井純氏提出の「義務教育費国庫負担制度拡充・教育予算拡充を求める意見書」の提出を求める請願を採択。

意見書趣旨

OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため30人以下の少人数学級にする。また、教育の機会均等と水準の維持向上のため、義務教育費国庫負担金を2分の1に還元するとともに制度の拡充を図るよう国に要望する。

地方財政の充実と地方自治の主体性の保障

大分県地方自治研究センター 中山敬三氏提出の「地方財政の充実・強化を求める意見書」の提出を求める請願を採択。

意見書趣旨

公共サービスの質の確保を図り、安定かつ地域偏在性の小さい地方税財源を確立するため、国と地方自治体の十分な協議を保障し、2015年度の地方財政計画、地方交付税及び一般財源総額の拡大を求める。



地・徳・体のバランスのとれた育成

女性農業委員を議会推薦

女性の登用が期待されていた農業委員は、議会推薦2名のうち、女性を1名選出しました。

井上 弘吉氏(日出地区)
佐藤 映美氏(大神地区)

常任委員会

総務産業

議案の審査結果

日出町情報公開・個人情報保護審査会の設置

日出町情報公開審査会及び日出町個人情報保護審査会を廃止し、日出町情報公開・個人情報保護審査会を設置するために関係条例の整備を行います。

税条例の一部改正

地方税の改正に伴い、法人住民税法人税割の税率引き下げ及び軽自動車税の税率引き上げなどについて所用の改正を行います。

【法人住民税法人税割】

14・7%↓12・1%

【軽自動車税(一部)】

原付50cc以下

10000円→20000円

自家用軽四乗用

72000円→108000円
自家用軽四貨物

40000円→50000円

※平成27年4月以降に取得した新車から適用

手数料条例の一部改正

国家公務員共済組合法などの改正により、該当者に戸籍の証明を無料で行うことができるよう改正します。

消防設備の整備

消防団が使用している小型ポンプ積載車のうち性能が経年劣化した4台、また同様に小型ポンプ3台を更新します。

「日出町民憲章」の制定

日出町は、水面輝く別府湾や緑豊かな鹿鳴越連山をはじめとする恵まれた自然を有し長い歴史の中で培われた文化が薫る私たちの郷土です。

この憲章は、私たちの郷土

である日出町を後世に伝えるとともに、日々の暮らしの中で「このまちに住んで良かった」と心から思えるまちであり続けることを願って定めるものです。



心にぎざむ日出町憲章

公共施設耐震化

庁舎旧館・中央公民館・川崎地区公民館・藤原地区公民館の耐震補強を今後行います。

住基ネット整備事業

社会保障・税制度の効率性・透明性の確保と国民にとって利便性の高い公平・公正な社会の実現に向けて国民全員に一意的番号を割り当てる個人番号(マイナンバー)制度を導入します。27年10月にカード発行開始のため、住民基本台帳ネットワークなどの整備・改修に取り組みます。

「人・農地プラン」の作成

集落・地域に職員が出向き話し合いを行いながら、今後中心となる経営体はどこか、どうやって農地を集めるか、それ以外の農業者を含めた地域農業のあり方などのプランを作成します。

「コンビニ」取納事業

現在、役場窓口以外では銀行と郵便局で行われている収納業務を、27年度導入に向けコンビニまで拡大する取り組みをします。

コミュニティバス増便

コミュニティバス利用者の要望に添えるため、バス2台を購入して、今年10月より現在の週1日から週2日に増便します。併せて、フリー乗降が可能になります。

回天基地記念公園の整備

人間魚雷「回天」大神基地跡周辺を整備し、駐車場・トイレなどを設置、公園化を行います。



人間魚雷「回天」

福祉文教

議案の審査結果

国保税の賦課限度額引き上げ

後期高齢者支援金分、介護分の課税上限額14万円が、それぞれ2万円引き上げ16万円となります。また、2割・5割軽減に係る所得判定基準の算定方法が変更することで、5割軽減の対象者が増えることとなります。

乳児家庭全戸訪問

不安や悩みを抱えるお母さんの相談に気軽に応じるための、乳児家庭を訪問する事業は、25年度、全戸訪問を達成することができました。

給食センター建設検討委員会設置

施設の老朽化に伴い給食センターの建て替えは喫緊の課題となっています。建設場所と費用、また財源はどうするのかなど建設に向けて検討すべき課題を話し合うために委員会を設置します。

地域支援事業

団塊の世代の方たちが後期高齢者となる2025年を目途に「地域包括ケアシステム」の構築を目指します。限られた財源で運用するためには、なるべく介護状態にならないよう介護予防に地域の力を活用します。

地域と協働した学校づくり

大神中学校をコミュニティスクールに指定。また藤原小学校を目標協働達成校に指定します。コミュニティスクールとは、保護者や地域住民が一定の権限と責任を持って学校運営に参画する制度です。目標協働達成校とは、学校の重点目標の達成に向けて、学校・保護者・地域でそれぞれが役割を持ちながら、学校の重点目標を共通理解し、達成に向けそれぞれの立場でできる取り組みをしています。

全国学力調査の公表

調査結果を公表する自治体もありますが、日出町は説明責任や公表する意味、学力向上につながる公表に

なるのかを勘案しながら検討します。

いじめ防止基本方針案

いじめの防止やいじめの早期発見、対処のための対策を総合的かつ効果的に推進するとともに、町、学校、地域、家庭、その他の関係者が連携し、いじめの問題に取り組むことを目的として策定します。



コミュニティスクール（大神中学校）

一般質問



岡山 栄蔵 議員
(川崎地区)

問 自然災害における対策は

答 避難所の整備を現在行っています

問 今後予想される南海トラフ巨大地震、大型台風、異常気象での大規模ゲリラ豪雨、豪雪など自然災害における対策はどのように行っていますか。

総務課長 日出町防災マップを配布し、避難所、避難経路は各自治区長を中心に地域の皆さんと話し合い、避難経路図を作成し、避難所看板などを設置して地区住民に周知を行っています。必要な箇所には避難地の整備も現在行っています。

問 災害が起きたあとの二次災害防止策はどのような計画がありますか。

総務課長 国の危機管理対策機関と連

携し各地域の防災行政無線や携帯電話を使った緊急速報メールで、早急に情報を地域にお知らせするようにしています。

問 高齢者の方、障がいを持たれている方、妊婦さんなど、災害弱者と呼ばれる方の対応策は。

総務課長 区長をはじめ、民生委員の方を中心に地域の皆さんと共に初期対応をお願いしているところです。

新図書館

問 萬里図書館から新しい図書館へ移るメリットは。

教育長 広さが現在の5倍になる予

定です。閲覧スペースや駐車場スペースも相当程度に確保でき、情報機器の利用や、集会所の設置などの多くのサービスが提供できるようになります。

問 図書館は、日出町の文化的・教育的資源になるものですが、短期間で建設する必要性は。

教育長 現在の図書館は、築30年になり、非常に閲覧スペースも狭く、建物が古いという利用者の方々からの声がありました。また早急に新しい図書館を建設してほしいという旨の陳情書が町と議会に対して提出、採決され現在に至りま

問 運営の内容について、さらに町民の皆さんや、外部団体の方と十分に協議ができますか。

教育長 今後とも、町民の皆さんや



窮屈な萬里図書館

関係団体の方と意見交換をすることを通じて随時協議していきたいと考えています。

質問を終えて
日出町の皆さんと共に、成長のできる図書館建設を願います。



佐藤 隆信 議員
(大神地区)

問 テキサス工場跡地の
土壌汚染対策は

答 県の指導に従い対策
を実施します

問 テキサス日出工場跡地から
有害物質が検出されたと報告
されましたが、鉛とフッ素の
土壌汚染の混入量は基準値を
どれくらい超えていますか。

商工観光課長

土壌含有量は汚染基準値を
超えていません。土壌汚染溶
出量(1ℓ当たり)基準検査
では364力所中、鉛が3力
所、フッ素は15力所基準値を
超えています。鉛の基準値
0.01mgに対し0.012か
ら0.03mg、フッ素の基準
値0.8mgに対し0.9から
3.1mgとなっています。

問

土壌汚染されている面積は
どれくらいですか。

商工観光課長

103四方区画ごとのサンプ

リング調査なので限定はでき
ませんが、あえて面積を試算
すれば、100㎡掛け18力所
で1800㎡になります。

問

汚染された土壌をどう措置
しますか。

商工観光課長

土壌汚染対策法に基づき県
に調査報告書を提出し、指導
に従い対策を実施します。ま
た、指導の有無に関わらず、
一部の汚染箇所は土壌を入れ
替えて修復作業を行います。

問

地下水、海水などの水質汚
染の調査をするべきでは。

商工観光課長

昨年行ったテクサスの土壌
汚染のボーリング調査(4力
所)では、鉛、フッ素とも検
出されていません。

町長

監督機関である県が
責任を持って対処すべ
きです。過去にボーリ
ングした実態はありま
すが、さらに確認をし
てもう少し厳格な調査
をするように働きかけ
ます。

産業振興に力を

問

26年度の産業振興予
算は、商工農林水産合
わせても1億円足らず
です。もっと産業振興

に力を入れるべきです。企業
誘致、中小企業対策は。
商工観光課長

独自の優遇措置を設けて産
業振興に取り組んでいます。
企業誘致では26年以降10社以
上の企業が立地しています。

問

農林漁業の中期生産計画や
担い手づくりの計画は立てて
いますか。

農林水産課長

具体的な数字はできていま
せんが、生産高ではなく所得



テクサス工場跡地の問題は

に注目し、販売先や販売方法
を含めた戦略を模索しながら
計画を立てていきます。

病児保育の実施を

問

病児保育を別府市や杵築市
は始めています。日出町も始
めたらどうですか。

福祉対策課長

実施主体となる関係機関と
十分協議しながら、事業開始
に向けて努力していきたいと
考えています。



金元 正生 議員
(日出地区)

問 町づくりのビジョンは

答 総合的に環境条件の整備を行います

問

人口3万人を目指しての町づくりを推進するうえで、少子高齢化が進み、昨年は若干の人口減、30年後は8%に近い減少が予測されています。国による総合的な対処に加え、地域の実情に応じた取り組みと財源確保が必要と思いますが。

政策推進課長

10年間という中期的計画を設け、4つの基本理念と40の基本計画を定め、空き家バンク報奨金制度や、新築への報奨金、子育て世帯の移住報奨金を行っているところです。

町長

人口減少時代に入り、日出



期待される市街地整備

町だけが増えることは非常に困難ですが、医療や教育、福祉対策や企業誘致も含めて、環境条件の整備に精一杯努力していきます。

問 全面譲渡後のテキサス跡地の展望

答 譲渡から40日が経過していますが、現在までの調査、検討の進捗状況は。

商工観光課長

利活用については検討中です。現在9つの団体や企業から希望があります。その他学校関係の団体が興味を示しているという状況です。

財政課長

耐震診断の調査が26年度中に終了する予定です。診断の結果により、対応を考えます。

問

給食センターのテキサス跡地への移転を検討しているということでしたが。

町長

耐震や資金の問題を含めて、現在、再検討中です。社員食堂を利用するか跡地を利用するのか、また新たな場所に建てる方がよいのか、早急に検討します。

問 学校教育の環境整備

給食事務および未納処理作業にはシステムの改善時期にきていますが、現状と今後の方向性は。

教育総務課長

各学校の教頭先生が行っております。作業内容としては、口座振替から督促事務の全てです。

教育長

現在の事務量を精査して、効率的な人員配置などを検討していきます。

町長

今の実態を考慮して、今後は公金扱いにするかどうかということを含めて十分検討していきます。

質問を終えて

先見性・即時性・柔軟性をもった組織の構築と費用対効果の検証を



工藤 健次議員
(大神地区)

問 農業の課題をどうしますか

答 農業振興に努力します

問 国も農業改革を加速し、国内農業の強化を打ち出しました。高齢化や後継者不足など、町の農業をどのように考えていますか。

農林水産課長

圃場条件が悪く効率的な作業ができないことや、耕作者の減少のため池や水路管理がうまくできていないなどの問題があると思います。燃油価格や飼料、資材の値上がり、また販売価格が思うようにいかないところにも要因があります。

問

新規就農者の推移と就農対策は。



JA 農産物加工場

農林水産課長

新規就農者は、21年2名、22年7名、23年2名、24年9名、25年2名。就農対策は、農業後継者組織の活動へ補助

金、農業大学生に対する奨学金制度、また、就農研修資金を借りた方に償還補助制度があります。

問

生産者への技術的指導と連携体制は。

農林水産課長

県の技術指導員や農協営農指導員と一緒に現地で指導しています。また農業の相談窓口を町が行っており、県や農協と連携して毎月1回連絡会議を開いています。

町長

専門職種でしっかり取り組み、職員が率先垂範し農業振興にあたれる体制が必要と考え努力していきます。

少子化対策

問

少子化の現状と課題、また取り組みは。

福祉対策課長

出生数は、240人から270人で増減を繰り返している状況です。晩婚化や未婚化が大きな要因で、少子対策は最大の課題と考え長期的な施策が必要です。

策が必要です。

町長

今年度から任意予防接種一部負担金を助成するようにしました。昨年度は、5歳児の相談会を実施し子育ての不安を少しでも解消する新規事業に着手しました。

問

認定こども園の取り組みは。

福祉対策課長

平成27年度から子ども子育て支援法の本格実施に向け、町内の認可保育園に移行を含めた説明会を逐次行い、新制度移行への理解を深めているところです。

質問を終えて

独自の取り組みが欠けています。



岩尾 幸六 議員
(川崎地区)

問 今後予想される「南海トラフ地震」に対する対応は

答 防災無線や補助事業を展開します

問

南海トラフ地震が発生した場合、日出町が受ける被害はどの程度想定していますか。

総務課長

平成24年度に県が行った地震被害想定調査では、地震発生から108分後に5mの津波が押し寄せ、人的被害では死者数172名、重傷者は104名、中傷者202名と想定しています。建物被害は、全壊・焼失386棟、半壊664棟、床上浸水424棟となっています。

問

津波被害が想定される湾岸地域は25地域と指定されていますが、この地域には防災無線は設置済ですか。

総務課長

現在沿岸部25地域には25基

の防災無線が設置済です。今年以内陸部に17基の設置計画があります。

問

防災無線は近隣から「音が高過ぎる」、「有事の際の音声が聞き取れない」などの声が聞かれますが対応は。

総務課長

防災無線を1日に2回、点検を含めて流しています。あまりにも音が高すぎる場合やスピーカーの音が聞き取れないなどの不具合が発生した場合は、委託業者へ調整を依頼します。

問

震度5強の地震発生時は、家具の転倒が考えられますが行政として



防災倉庫備蓄品は万全です

での取り組みはありますか。

総務課長

家具の転倒防止対策は、転倒防止補助用具の設置が有効であると考えています。今年から県の地震津波対策推進事業の高齢者早期避難支援として、家具の転倒防止補助用具の購入に対する補助が開始されました。費用の1/3が県、1/3が町、個人は1/3負担で済む事業です。町では65歳以上の高齢者家庭を対象としています。

日本テキサス工場の利用は

問

日本テキサス跡地の利用希望企業は9社ほど名乗りがありますが、企業誘致後の雇用者数を予測していますか。

商工観光課長

現在のところ雇用数の計画は立てていません。

問

テキサス跡地管理を継続するにあたり管理費用はどれだけかかりますか。

商工観光課長

人件費・電気料・警備費・草刈ほかで年間1900万円の維持管理費を計画しています。

質問を終えて

一刻も早く採算が取れる企業誘致を望みます



阿部 真二 議員
(大神地区)

問 特色ある子育て支援策を

答 一層の充実を図って努力していきます

問

核家族化が加速し育児困難家庭が増加傾向にあります。行政としての支援体制、支援策は。

福祉対策課長

妊娠、出産、育児に関する情報提供や指導、生後4カ月までの乳幼児家庭への全戸訪問を実施しています。幼児の発育に応じた個別相談、「地域子育て支援センター」を設置するなど、悩みを抱える保護者や孤立して相談窓口のない方々への更生支援をおこなっています。

問

今後10年、20年先の子育て環境について、行政としての方向性は。

福祉対策課長

平成27年度から本格施行さ

れる「子ども子育て支援法」

に伴い日出町子ども子育て支援事業計画を策定します。また日出处世代育成支援行動計画の策定に本年度から取り組みます。

問 教育環境の充実を

国際感覚を養う教育カリキュラムの導入は。

学校教育課長

国、県の方針にのっとり子どもたちの国際感覚育成に取り組んでいきます。

町長

民間の活力の中で交換留学など次世代の子どもたちに海外に目を

向けるような支援をしていきたいと思えます。

問

小中一貫校制度の導入は。

学校教育課長

今後、研究を深め、学校や保護者、地域の意向も踏まえながら検討課題としていきます。

福祉環境の充実を

問

公共施設のバリアフリー化はどこまで進みましたか。

生涯学習課長

公民館、体育館は一部を除きほぼ対応ができています。但しトイレについて不十分な個所があります。グラウンドも安養寺の整備が出来ていないので使用頻度を確認しながら早急に改善していきます。

文化施設の建設は

問

新たな文化ホールなどの建設予定はありますか。

生涯学習課長

日出町文化協会を中心に署名活動がされ、2150名の署名が集まり陳情書が提出され全会一致で採択されています。財政面も考慮しながら日出町に相応しい文化施設の検討をしていきます。



APU 学生との交流



次回も期待します

チケットがどのくらい売れているかといった情報は準備の都合上、必

問

事前に力を入れました。

CTBなどいろいろな形で告知には

商工観光課長

25年度に緊急雇用創出事業で株式会社マイダスコミュニ

ご当地グルメでまちおこしに取り組むB-1グランプリは、全国各地から人が集う人気のイベントとなつていきます。日出町でも、今年2月27日に食のイベント「HOTバル」が開催されましたが、日出町の企画ですか。

商工観光課長

告知の方法は。

新聞記事の掲載、町報、ホームページ、フェイスブック、回覧板、タウン情報誌への掲載、ラジオ、

ケーシヨンに委託をし、日出町ご当地グルメ調査・振興事業を実施しました。飲食店の情報をより効果的に発信するために、町と委託業者と協議しながら決定しました。



池田 淳子 議員
(藤原地区)

問

食のイベント開催の継続を

答

他の団体と協力しながら検討します

商工観光課長

要だと思いますが、主催者と町、店同士の連携は取れていましたか。

今回初めての試みということもあり、委託業者が直接交渉したので店同士の連携は十分とは言えませんでした。

問

今後継続して実施しますか。

商工観光課長

今回参加した方にアンケートをとりましたが、ほとんどの方が満足、次回もあれば参加したいとの回答をいただいています。こういったイベントは続けていくことが大事だと思いますが、町が主体的にというより、商工会など他の団体組織でやっていただきたいと思っています。

地域包括ケアシステムの構築に向けて

問

2025年の構築に向けて日出町の計画と進捗状況は。

健康増進課長

地域ケア会議における地域

課題、日常生活圏ニーズ調査の分析、地域支援事業の内部検討などを参考にしながら2025年を見据え、第6期介護保険事業計画に反映していきます。

問

大分市に「大分県認知症疾患医療センター」が設置されていますが、町内に認知症の診察を受けられる病院は。

健康増進課長

初期段階で専門的な診察が受けられる物忘れ外来のある医療機関はありませんが、かかりつけ医、認知症専門研修を受けて県に登録している物忘れ認知症相談医、通称「大分オレンジドクター」は現在3名おります。別府市、杵築市には認知症の診療を習熟し、かかりつけ医に助言や支援を行う認知症サポート医が10名おります。

質問を終えて

高齢化率の低い今のうちにしっかりと取り組みを



森 昭人 議員
(日出地区)

問 給食誤食事故の危機管理は十分ですか

答 しっかりと体制を整備していきます

問

今年2月末に、食物アレルギーをもつ子どもが、給食を食べてアナフィラキシー症状を起こし病院に搬送されました。事故の経過は。

教育総務課長

給食開始から30分後に、子どもから「口がかゆい」と訴えがあり、一旦給食を残すように指示しましたが、時間を置き、ちよつと良くなったので再度食べ始めました。その後、息苦しくなったというこゝとで、別室で様子を見ていましたが、呼吸が荒く、顔も赤くなったことから救急車で主治医のいる病院に搬送しました。処置後は容態も落ち着いて、翌日の午前中に退院しました。

問

同じ事故を繰り返さないように、教育委員会や給食センターですでに再発防止策が協議され、実施されていると思えますが。

教育総務課長

事故原因は、栄養職員の誤発注と確認ミス、また、検収員が納品時と調理時に点検確認義務を怠ったことにあります。確認書類を整備し、検収から調理までのチェック体制を複数化することで再発防止に努めます。その他、学校現場の情報共有や異常時・緊急時のマニュアル整備、関係者の研修を実施し、体制整備が必要と考えています。

教育長

今回の事故で、ご本人と保

問

給食センター所長が誤食事故を知ったのが発生から数時間後、教育長は翌日の朝、教育委員会は3日後の定例会議の時と、危機管理体制がまったく機能していません。また議会開会中で、所管の委員会が開催されていたにもかかわらず報告されていませんが。

給食センター所長が誤食事故を知ったのが発生から数時間後、教育長は翌日の朝、教育委員会は3日後の定例会議の時と、危機管理体制がまったく機能していません。また議会開会中で、所管の委員会が開催されていたにもかかわらず報告されていませんが。

教育長

十分肝に銘じて、スピード感を持って対処していきたいと考えています。

重文指定の的山荘

問

関係各位の努力が結実し、的山荘が国の重要文化財に指



国の重要文化財に指定された的山荘

定される運びとなりました。観光や財政面、まちの活性化に大きな影響を及ぼすと思われるますが、どう認識していますか。

商工観光課長

これを期に日出町の貴重な財産であります的山荘を広く県内外に情報発信していきます。また、宿泊施設と連携しながら、経済効果をもたらすような取り組みも考えていきます。

町民の 声

求められる

若い世代の組織力



大神牧の内区
中山公夫

私は、4年前より日出町スポーツ推進委員をさせていただいています。若い頃はテニス、バドミントン、ソフトボールをプレーヤーとして楽しんでいました。現在に至っては、専ら観戦するだけです。が、どちらにしてもスポーツは、日常生活において心身の向上に欠かせない潤滑油の様な働きをしてくれる大変重要なものであると思います。

さて、私が今感じていることは、日出町の各地区の体育部長は、区長、公民館長に次いで大変激務であると思っています。春の体育祭から始まり、夏場にはナイターソフト並びに各地区内での成人ソフトボール大会があり、また秋・冬とその季節に応じた競技の大会が開催されています。日出町全体の大会から地区内対抗の大会まで合わせると、年間、結構多くの大会に出場されていると思われまふ。その大会の選手選考から事前の打ち合わせ会議に至るまで、ハードスケジュールの中にも任務を遂行されています。

私も実際、20数年前に体育部長の経験があります。当時は、若いということもあり、回りの人達に大変助けられ、何一つとして苦勞を感じることはありませんでした。

んが全盛期であり、縦社会は勿論ですが、横の繋がりも形成されていたため、地区内のコミュニケーションがしつかり取れていたと思います。それから40数年前には、日出町のほとんどの地区には、青年団が結成されていたと聞いています。約30年前からは、大神地区の南部の方の地区では、青年団から青壮年部へと移行されて年齢層も20歳代〜50歳代までで形成されていて地区内ではスポーツ大会だけでなく清掃活動から各種イベント、祭りなど活躍の場が多くあります。この様に昔から若い世代の組織が充実している地区は、活気がありますし、体育部長の負担も軽減されているように感じられます。

そこで、今後10年〜20年先を考えた時に町内全体で若い世代の組織作りが必要であると思っています。

区長会や公民館長の会合の時は、是非一度、審議していただきたいと希望します。都会化して成長著しい日出町ではありますが、古き昔が懐かしく感じているのは、私だけではないと思います。

最後になりますが生まれ育った日出町に感謝しながら今後とも微力ではありますが、日出町活性化に貢献させていただきますと考えています。

9月

9月定例議会の予定

- 8月25日 議会運営委員会
- 9月4日 本会議（初日）
議会運営委員会
- 8日 本会議（議案質疑・一般質問）
- 9日 本会議（一般質問）
- 10日〜11日 常任委員会（予算）
- 12日 特別委員会（決算）
- 16日〜17日 特別委員会（決算）
- 18日〜19日 常任委員会（所管）
- 22日 常任委員会（予算）
- 22日 全員協議会
議会運営委員会
- 26日 本会議（最終日）

お 詫 び

前回96号の表紙の議会だよりの題字を書いていたいた日出中3年杉本^{まこ}菜瑚さんの名前に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

編集後記



去る7月1日に糸ヶ浜海水浴場で海開きがあり町長はじめ各関係者出席のもと、安全祈願祭の神事が執り行われました。

いよいよ海水浴シーズンの到来です。この冊が発行される頃には、既に多くの方が訪れている事と思います。8月3日には、糸ヶ浜ビーチフェスタが開催されます。

また、周辺（2km圏内）には、「ホテルソラーージュ大分・日出」「大神ファーム」「石ころたちの動物園」「花の美術館」「人間魚雷・回天」の実物大模型展示場などの観光スポットが多くあります。

是非一度、足を運んでみてはいかがでしょうか。

（上野 満）

- | | |
|-------|-------|
| 編集委員長 | 森 昭人 |
| 副委員長 | 土田 亮治 |
| 委員 | 池田 淳子 |
| 委員 | 上野 満 |
| 委員 | 阿部 真二 |
| 委員 | 岡山 栄蔵 |